

# 府中市新庁舎建設実施設計の概要

平成30年3月

府 中 市



## 目次

---

基本方針	P. 1
計画概要	P. 2
配置計画	P. 3
外装・外構計画	P. 4
内装計画	P. 5
階層計画	P. 6
平面計画	P. 7
立面計画	P. 11
断面計画	P. 12
植栽計画	P. 13
防災計画	P. 14
環境計画	P. 17
ユニバーサルデザイン・昇降機計画	P. 18
サイン計画	P. 19
構造計画	P. 21
電気設備計画	P. 23
機械設備計画	P. 25
建替計画	P. 27
外観・内観イメージパース	P. 28

「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」の実現に向けて



### 1. 市民に開かれ、人々の多彩な活動が生まれる庁舎

- 「おもや」の低層階に来庁者の利用が多い部署を集約配置し、サービスを提供しやすい施設とします。「はなれ」の低層階には多彩な市民活動や市民協働を支える多目的スペース・ラウンジを計画します。
- 「通り庭」に面して庁舎機能や市民協働の場を設け、市役所に訪れた人はもとより「通り庭」を散歩道にする人など、誰もが気軽に訪れやすく、多様な活動が生まれる開かれた庁舎を計画します。

### 2. 災害時に庁舎機能を確保できる庁舎 環境負荷低減に配慮した庁舎

- 大地震などの災害発生時にも行政機能を継続維持できる庁舎とします。災害対策本部関連諸室の集約化、備蓄倉庫の設置、「通り庭」を有効活用した防災広場を計画します。
- 十分な耐震性を備え、構造方式には最も信頼性の高い免震構造を採用します。
- 環境負荷の低減や省エネルギーに配慮した環境にやさしい庁舎とするため「自然通風」「自然採光」「高効率機器」「再生可能エネルギー利用」などの省資源・省エネ・長寿命の設備を導入します。

### 3. 時代やニーズの変化に対応できるフレキシブルな庁舎

- 庁舎内へのスムーズな動線、分かりやすいサイン計画、充実したトイレ計画により、誰もが安心して利用できる施設計画とします。
- 高度情報化に対応できる庁舎とし、事務の効率化を図り、質の高い市民サービスを提供します。
- 執務空間は大きく広がるフレキシブルな空間とします。機能性と経済性のバランスを取りながら、多様なニーズに対応できる可変性と更新性に優れた計画とします。

### 4. 府中の魅力を象徴する、まち、自然と一体になった庁舎

- 庁舎の主たる機能を担う「おもや」と、庁舎機能を補完し、市民協働を支える「はなれ」、そして市民に開かれた「通り庭」で構成します。これら3つの空間が絡み合い、補い合うことで、市役所としての機能性を十分に発揮しながらも市民に開かれ、自然と一体になったこれからの時代を象徴する庁舎となります。
- 「通り庭」は市民に開かれた府中らしい多彩な活動が繰り広げられる場です。大國魂神社、京王線府中駅とJ R府中本町駅の周辺のにぎわいをつなぐ役目を果たす、市役所のシンボル空間となります。

# 計画概要

## □新庁舎敷地概要

計画地	東京都府中市宮西町 2 丁目 24 番地
敷地面積	11,906.21 m <sup>2</sup>
法定建ぺい率	80%
法定容積率	500%
周辺道路現況幅員	東側： 4.5m (市道) 南側： 6.5m (市道) 西側： 16.0m (都道) 北側： 3.6m (市道)

## □法的規制

区域指定	都市計画区域
用途地域	商業地域
防火指定	防火地域
高度地区	なし
地区計画	なし
日影規制	指定なし
景観計画	景観形成推進地区 (大國魂神社・けやき並木周辺) 一般地域 (駅周辺の商業地)

## □新庁舎建物概要

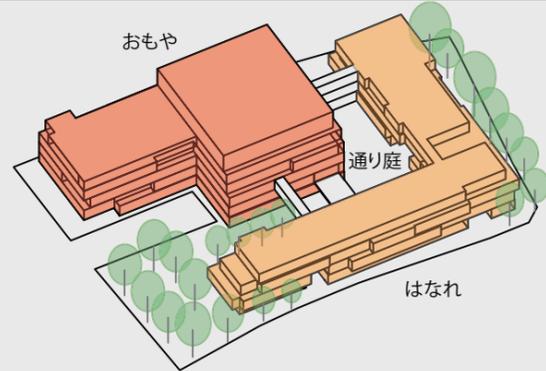
主要用途	庁舎
構造種別	免震構造 (地下 1 階柱頭免震)・鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
基礎形式	杭基礎
建築面積	6,362.68 m <sup>2</sup>
延床面積	32,584.20 m <sup>2</sup>
容積対象床面積	25,208.49 m <sup>2</sup>
建ぺい率	53.44%
容積率	211.73%
階数	「おもや」 地下 1 階 地上 6 階 「はなれ」 地下 1 階 地上 4 階
高さ	「おもや」 30.15m (※建築基準法上の最高高さ 26.93m) 「はなれ」 21.35m
駐車場	車 178 台 バイク 52 台
駐輪場	604 台



案内図

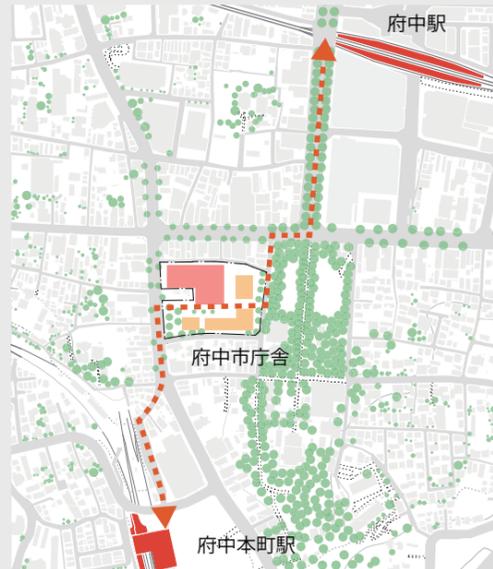
# 配置計画

## 配置計画の考え方



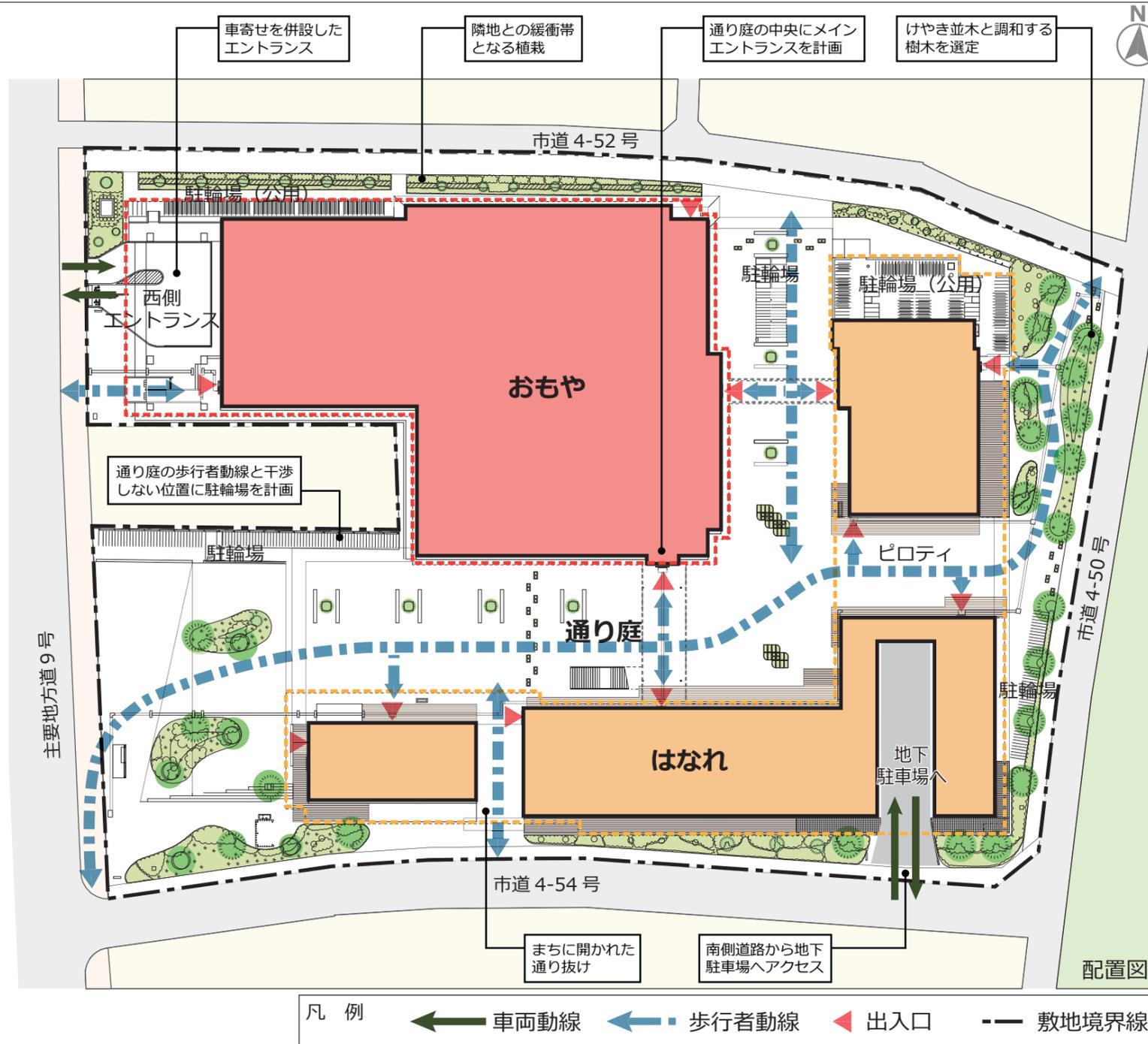
限られた敷地の中で、仮設庁舎を建設しない合理的な建替計画するとともに、周辺のまち並みと対応する計画とします。周辺環境へ配慮し、低層としながら可能な限り執務面積を1期工事の「おもや」で確保し、基本的な庁舎機能を賄える計画とします。

庁舎機能移転後、2期工事で庁舎機能を補完し、市民協働を支える「はなれ」を周辺環境のスケールに合わせて建設します。「おもや」と「はなれ」は、開かれた広場である「通り庭」により、緩やかにつながります。



府中宿を始めとしたかつての宿場町は、まちをつなぐ街道沿いに存在し、旅籠、商店、茶屋などが軒を連ね、常に人が行き交い、にぎわいにあふれている場所でした。

府中市庁舎もまた府中駅と府中本町駅のにぎわいをつなぐ場所にあります。ここに、日常の通り道であり、また用があってもなくても立ち寄れる、常に人の活気にあふれる「現代の宿場町」のような庁舎をコンセプトとします。



## □まちとつながる照明計画

「通り庭」には、軒の連なりに沿うように照明を配置し、夜間でも街路のように、安心して通行することができるようにします。また、敷地の中からほんのりと光が漏れ出し、まちの明かりと連続する計画です。

「はなれ」については外装材である有孔パネルにも屋外照明を組み込みます。軒のない「通り庭」中央部も十分な照度を確保するとともに、壁面を明るくすることで「通り庭」全体の空間の明るさ感にも配慮します。



## □動線計画

### 車両動線

南側に地下駐車場へアクセスする出入口を設け、円滑な進入・退出ができる計画とします。

### 歩行者動線

「通り庭」を介して歩行者がアクセスできる計画とします。また、歩車分離を基本とした安全な動線計画とします。

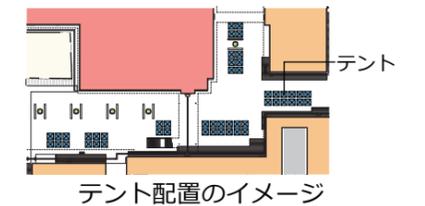
### 自転車動線

「通り庭」の西・北・東側に来庁者用の駐輪場を設け、どこからでもアクセスしやすく、歩行者動線と干渉しない計画とします。

## □イベント開催への対応

様々な祭りやイベント時に、テントを展開したり、車両を一時的に乗り入れたりすることを想定し、広いスペースを確保する計画としています。

また、適宜外部コンセントや外部水栓を設けて、様々な催しに対応できる設えとします。



通り庭イベント時イメージ

# 外装・外構計画

## 外装・外構計画の考え方

建物全体を穏やかに包む有孔パネルは、環境負荷低減にも効果的であり、プライバシーへの配慮にも有効です。「おもや」を横張り、「はなれ」を縦張りとしながら、共に片流れの折板形状とします。片側のみ孔(あな)を開けたデザインとすることで、見る場所や角度によって様々に表情を変え、「おもや」と「はなれ」を特徴付けながら印象的な外観をつくります。

また、有孔パネルを始めとした外装には、素材そのものの風合いを活かしながらメンテナンスの容易な仕上げを選定します。高耐食溶融亜鉛メッキ鋼板を加工してつくられた有孔パネルはメンテナンスフリーな建材であり、建物外周部にメンテナンスバルコニーを設けることで維持管理を容易にし、永く市民に親しまれる庁舎を支えます。また、雨風にさらされない軒天は多摩産材の杉板張りとし、木のぬくもりやかつての宿場町の風情が感じられる設えとします。

「通り庭」や外構の床にはレンガタイルを用います。街路のような舗装を敷地内まで引き込むことで、大國魂神社の参道や、けやき並木とも連続性のある設えとします。また、レンガタイルは市民の活動や建築、植栽を引き立てるシンプルな材料でありながら、素材本来の色合いの違いが豊かな表情を与えます。

### □主要な外装・外構仕上げ

部位	仕上材
屋根	コンクリート金ゴテの上、ウレタン複合塗膜防水
外装	有孔折板(高耐食溶融亜鉛メッキ鋼板)
外壁	コンクリート打放しの上、フッ素樹脂塗装 押出成形セメント板の上、フッ素樹脂塗装
開口部	アルミサッシ、ステンレスサッシ
軒天	杉板張り(多摩産材)
外部床	一般部:レンガタイル張り テラス部分:再生木デッキ



### □おもや外装の考え方

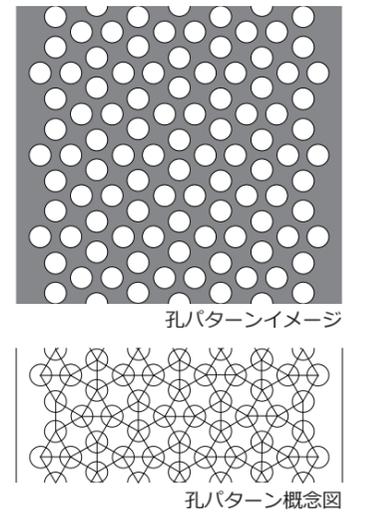
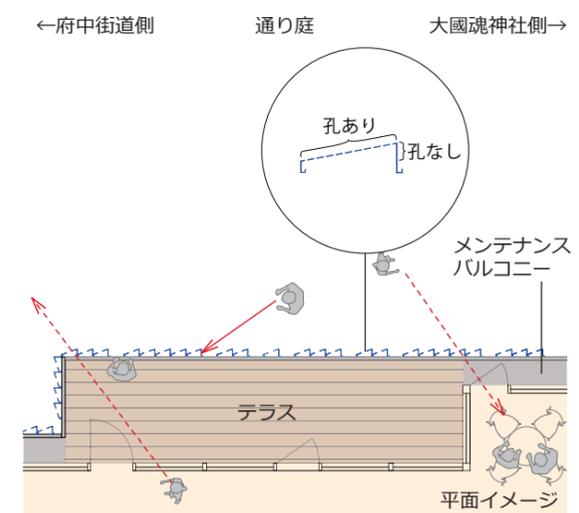
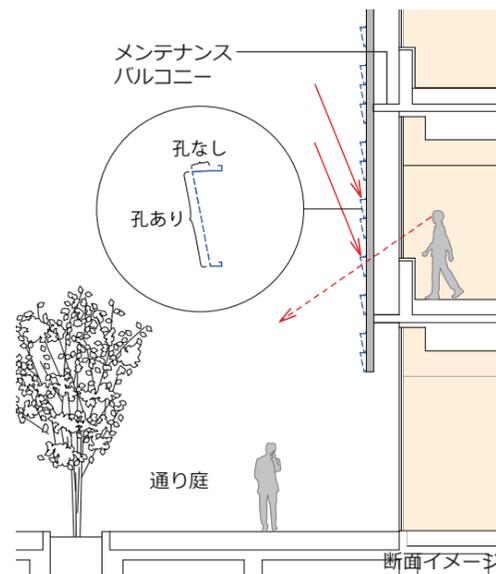
下向きに開口を向けた横張りとし、室内からも外の活動の様子が垣間見える設えとします。上向きに孔を開けないことで、夏場の日射遮蔽にも効果的です。

### □はなれ外装の考え方

建物全周に沿って同一方向に折板を張った縦張りとし、歩く方向によって建物の見え方に変化をもたらします。府中街道側から歩くと内部の様子が垣間見え、大國魂神社側から歩くと穏やかに視線を遮ります。

### □有孔パネル孔パターンの考え方

孔パターンは、かつての宿場町や街道沿いにあふれていたであろう和柄を、現代的にデザインした「新しい和柄」をコンセプトとします。正方形と正三角形のみを用いて描かれる紋様は、府中に受け継がれる古の文化と呼应しながら時代を超えて色褪せることのないパターンです。



# 内装計画

## 内装計画の考え方

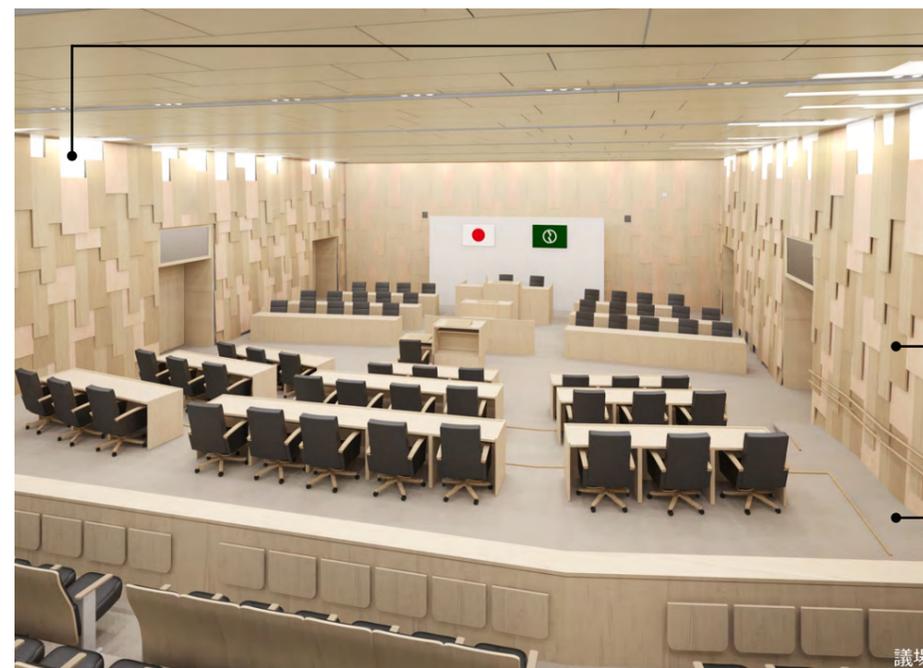
内装仕上げはシンプルでメンテナンスが容易な素材を用います。執務室や待合、廊下等の床仕上げは将来の更新性を考慮してタイルカーペットを基本とし、外部と連続する「おもや」1階の待合ロビーは通り庭と同じレンガタイルを用い、耐水性・防汚性を確保します。

市民協働を支える「はなれ」の低層部の廊下や多目的スペース、市民協働ラウンジの床にはフローリングを用い、木のぬくもりが感じられる設えとします。「はなれ」2階の図書館は壁一面を書架とした印象的な空間をつくります。

議会フロアや議場は、けやき並木を始めとした府中の豊かな自然を象徴する、木に包まれた空間とします。仕上げに用いる樹木は、武蔵野の地に古くから根付くナラやクルミなどの樹種を選定します。

## □主要諸室内装仕上げ

	室名	床	壁	天井
共用部	ホール 廊下(待合) おもや1階	レンガタイル	柱型：コンクリート打放し 壁：スチールパネル+塗装	岩綿吸音板
	廊下(待合)一般部	タイルカーペット	柱型：コンクリート打放し 壁：スチールパネル+塗装	岩綿吸音板
	廊下 はなれ1,2階	フローリング	柱型：コンクリート打放し 壁：スチールパネル+塗装	岩綿吸音板
	トイレ	長尺塩化ビニルシート	ケイ酸カルシウム板 石膏ボード+塗装	岩綿吸音板
執務諸室	おもや執務室	タイルカーペット	柱型：コンクリート打放し 壁：石膏ボード+塗装	コンクリート打放し 岩綿吸音板
	はなれ執務室	タイルカーペット	柱型：コンクリート打放し 壁：石膏ボード+塗装	岩綿吸音板
	更衣室	長尺塩化ビニルシート	柱型：コンクリート打放し 壁：石膏ボード+塗装	石膏ボード+塗装
	倉庫・書庫	長尺塩化ビニルシート	化粧石膏ボード	化粧石膏ボード
議会諸室	議場	カーペット	突板練付不燃板	突板練付不燃板 岩綿吸音板
	委員会室	カーペット	突板練付不燃板	岩綿吸音板
その他	図書館	タイルカーペット	石膏ボード+塗装	岩綿吸音板
	会議室	タイルカーペット	柱型：コンクリート打放し 壁：石膏ボード+塗装	岩綿吸音板
	機械室	防塵塗床	グラスウール吸音材	グラスウール吸音材



# 階層計画

## 階層計画の考え方

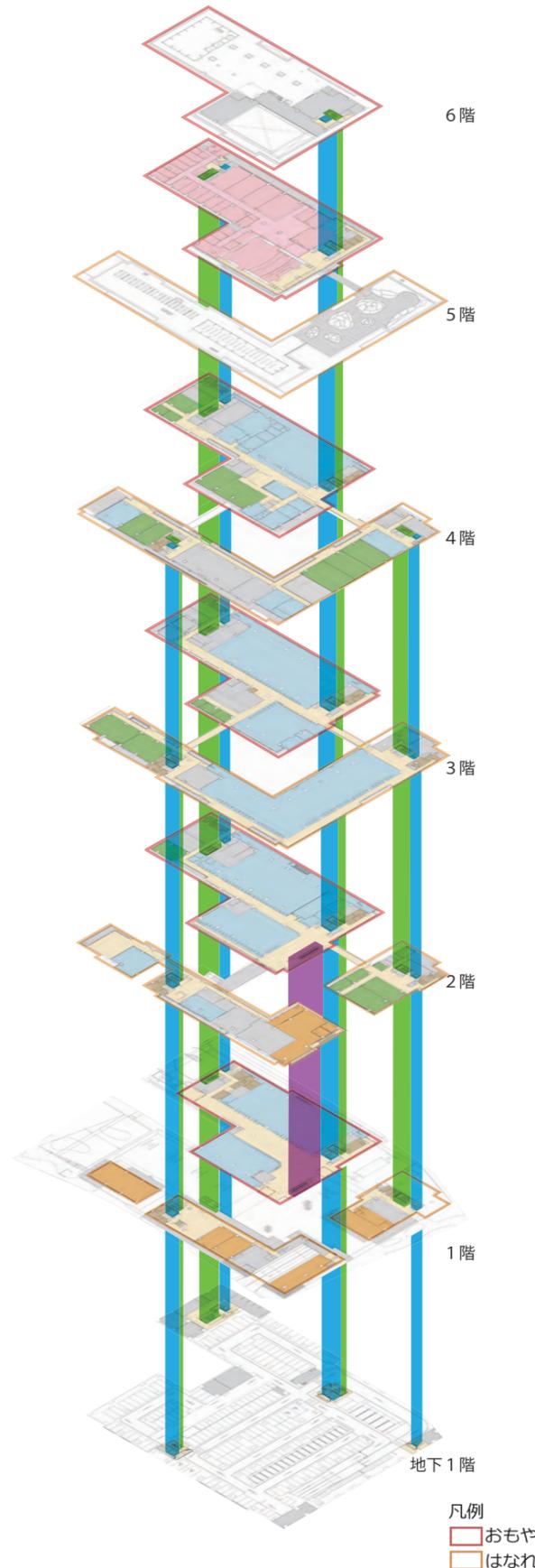
6階	おもや	免震構造の地上階に重要設備機器を配置し、庁舎機能の安全性を確保した計画とします。
	はなれ	
5階	おもや	5階は議会機能を集約配置し、大空間の議場スペースを確保します。また、傍聴ロビーを配置します。
	はなれ	
4・3階	おもや	4階は市長室、関連諸室、災害対策本部室など、災害時の指揮系統の連携がしやすい計画とします。
	はなれ	3階はフロア全体に執務エリアを配置し部署間の連携が図りやすい回遊性の高いフロアを計画します。
2・1階	おもや	1・2階は市民の利用頻度の高い窓口・相談・案内機能を中心に配置します。
	はなれ	1・2階は市民協働エリアを中心に配置します。また、歴史コーナー・図書館を配置し、市民に開かれた場をつくります。
地下1階	おもや	地下1階は来庁者用・公用車用駐車場を配置します。
	はなれ	

### □縦動線

- エレベーター  
「おもや」3基「はなれ」2基
- 階段
- エスカレーター  
「おもや」1～2階 2基（上り1基 下り1基）

### □フロアゾーニング

- 執務エリア
- 会議室エリア
- 市民利便スペースエリア
- 共用スペースエリア
- 議会エリア
- その他諸室エリア



機械室エリア	6階	おもや	機械室
		はなれ	
議会・展望エリア	5階	おもや	議場 委員会室 議長室 副議長室 会派室 正副議長応接室 議員応接室 議会図書スペース 議会ロビー 議会事務局（庶務課 議事課） 前職待遇者控室 傍聴ロビー
		はなれ	展望テラス（屋上）
窓口・執務エリア	4階	おもや	市長室 副市長室 市長公室 庁議室 執務エリア（政策課 財政課 法制文書課 職員課 財産活用課 建築施設課 情報管理課） 会議室
		はなれ	執務エリア（防災危機管理課 選挙管理委員会事務局 監査事務局） 災害対策本部室 研修室 会議室 職員健康管理室
	3階	おもや	執務エリア（契約課 住宅勤労課 経済観光課 環境政策課 地域安全対策課 ごみ減量推進課 子育て支援課 保育支援課 児童青少年課 教育総務課 学校施設課 学務保健課 指導室） 厚生室 会議室
		はなれ	執務エリア（文化生涯学習課 ふるさと文化財課 スポーツ振興課 管理課 計画課 土木課 公園緑地課 下水道課 建築指導課 地区整備課） 会議室
	2階	おもや	執務エリア（広報課 保険年金課 市民税課 資産税課 納税課 生活援護課 出納課） 会議室
		はなれ	執務エリア（広報課 協働推進課 地域コミュニティ課） 市民協働ラウンジ 図書館 会議室 防災備蓄倉庫
1階	おもや	執務エリア（総合窓口課 地域福祉推進課 高齢者支援課 介護保険課 障害者福祉課） ロビー 庁舎管理室（防災センター）	
	はなれ	情報コーナー 多目的スペース 歴史コーナー 視聴覚スタジオ 売店 レストラン	
駐車場エリア	地下1階	おもや	駐車場 バイク駐車場
		はなれ	

※ 執務エリアに記載されている部署名は現時点における想定を参考記載したものです。

# 平面計画

**1階** **おもや**

- ・総合案内やエレベーター、エスカレーターは、出入口から分かりやすい位置に計画します。
- ・メインエントランスの近くに十分な広さのロビーを配置します。

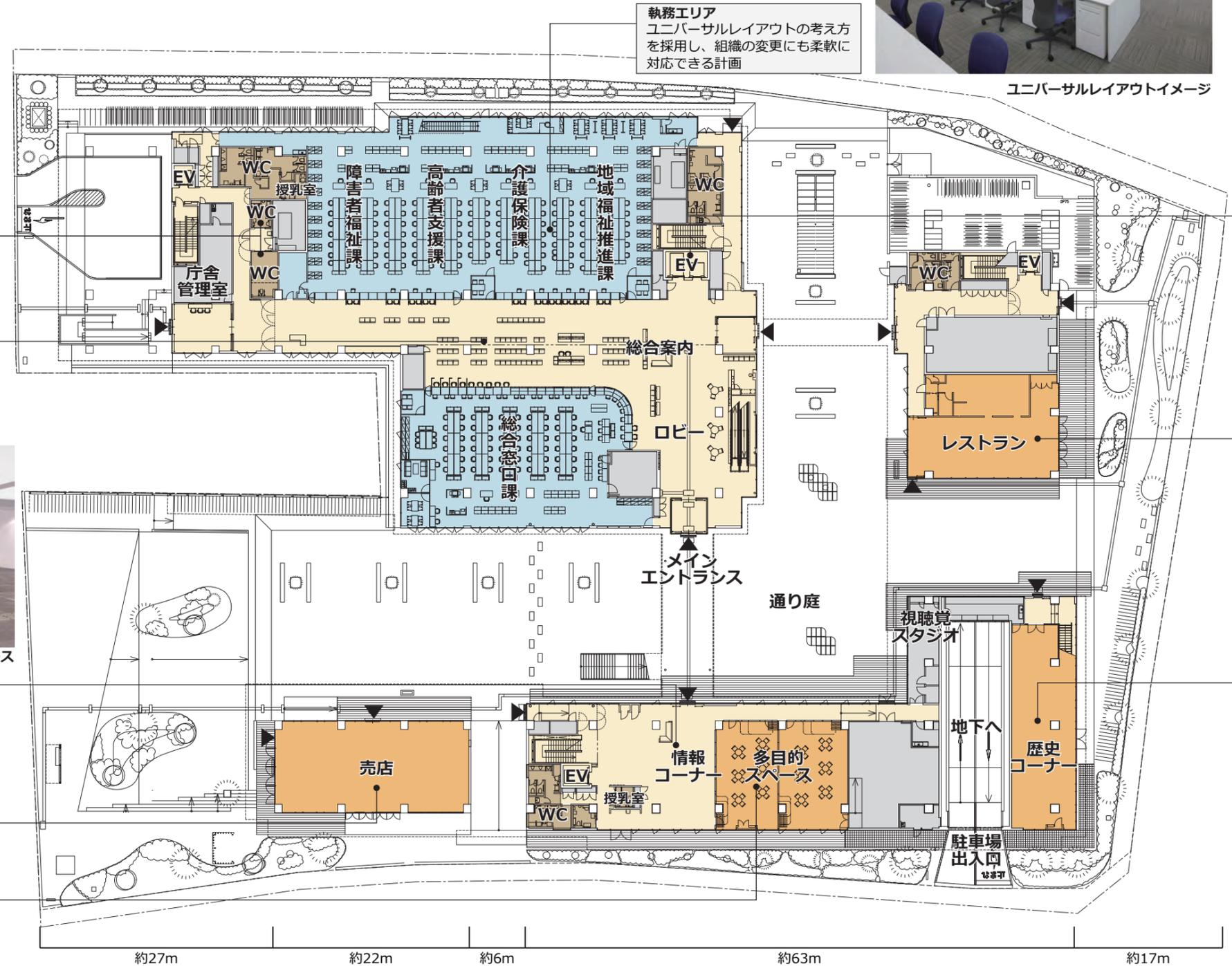
**はなれ**

- ・売店やレストランは、アクセスの良い位置に計画します。
- ・情報コーナー・多目的スペース・歴史コーナーを設置し、市民が気軽に、様々な目的で訪れやすい計画とします。



ユニバーサルレイアウトイメージ

**執務エリア**  
ユニバーサルレイアウトの考え方を採用し、組織の変更に柔軟に対応できる計画



**重度障害者用トイレ、多機能トイレ**  
誰もが安心して利用できる庁舎としてトイレ計画を充実

**待合**  
広く見通せる視認性の良い待合空間



待合イメージパース

**情報コーナー**  
市に関する様々な情報を広く発信

**売店**  
府中街道側のアクセスが良く立ち寄りやすい位置に計画

**多目的スペース**  
パネル展示や相談会、期間限定の臨時受付窓口など多目的に利用

**エレベーター**  
利用者動線に配慮した場所とし、移動しやすく使いやすい計画

**レストラン**  
大國魂神社に面して景観が良く、アクセスしやすい位置に計画

**歴史コーナー**  
府中の歴史と身近に触れ合うことができる展示コーナー

凡例	執務エリア	共用スペースエリア
	会議室エリア	議会エリア
	市民利便スペースエリア	その他諸室エリア

※執務エリアに記載されている部署名は現時点における想定を参考記載したものです。

# 平面計画

**2階 おもや**

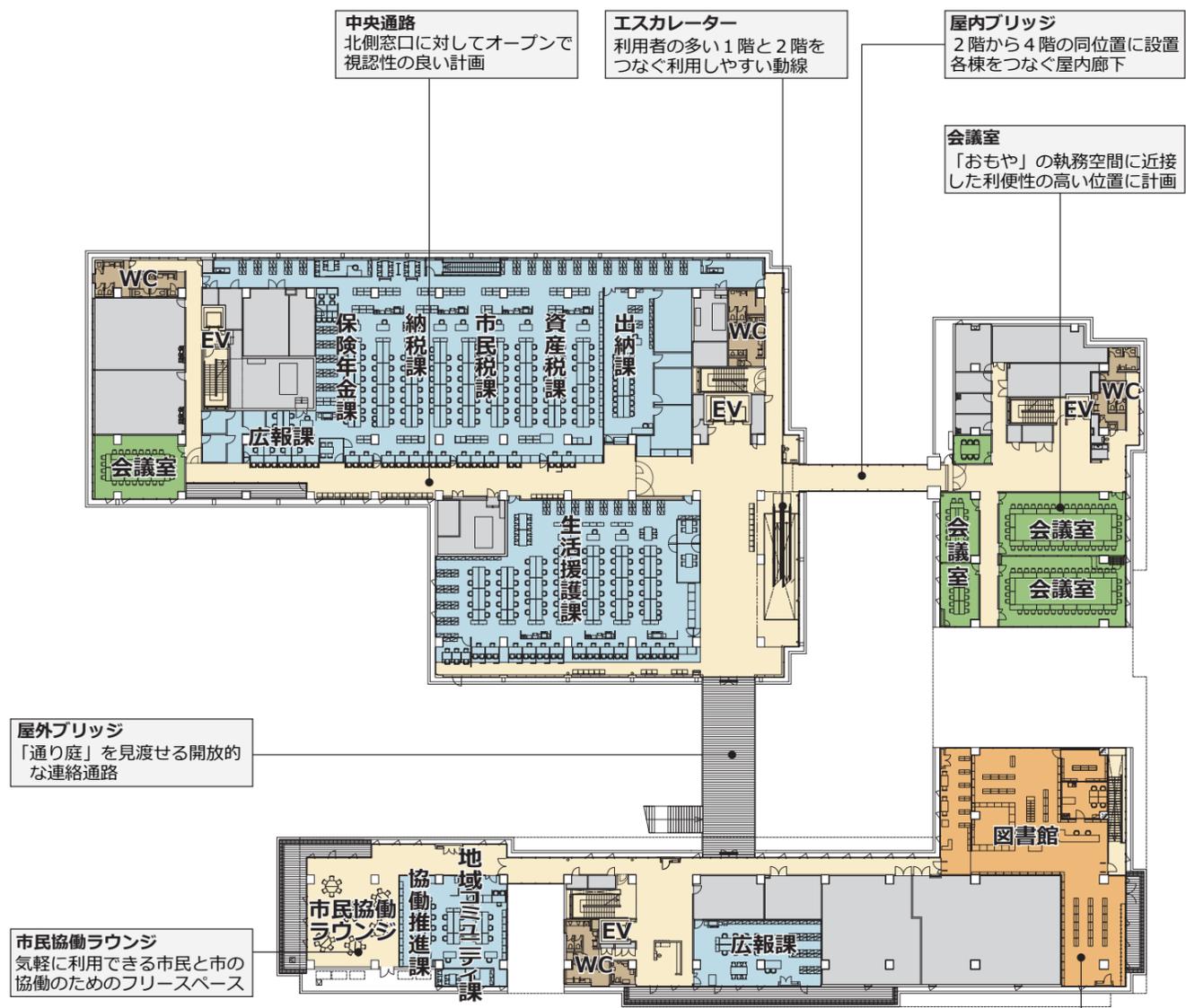
- ・執務室を南北に配置し、エレベーター及びエスカレーターから分かりやすい位置に各窓口を計画します。

**はなれ**

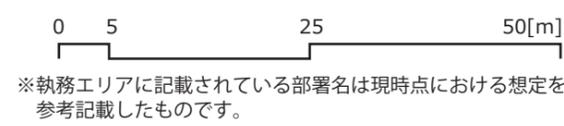
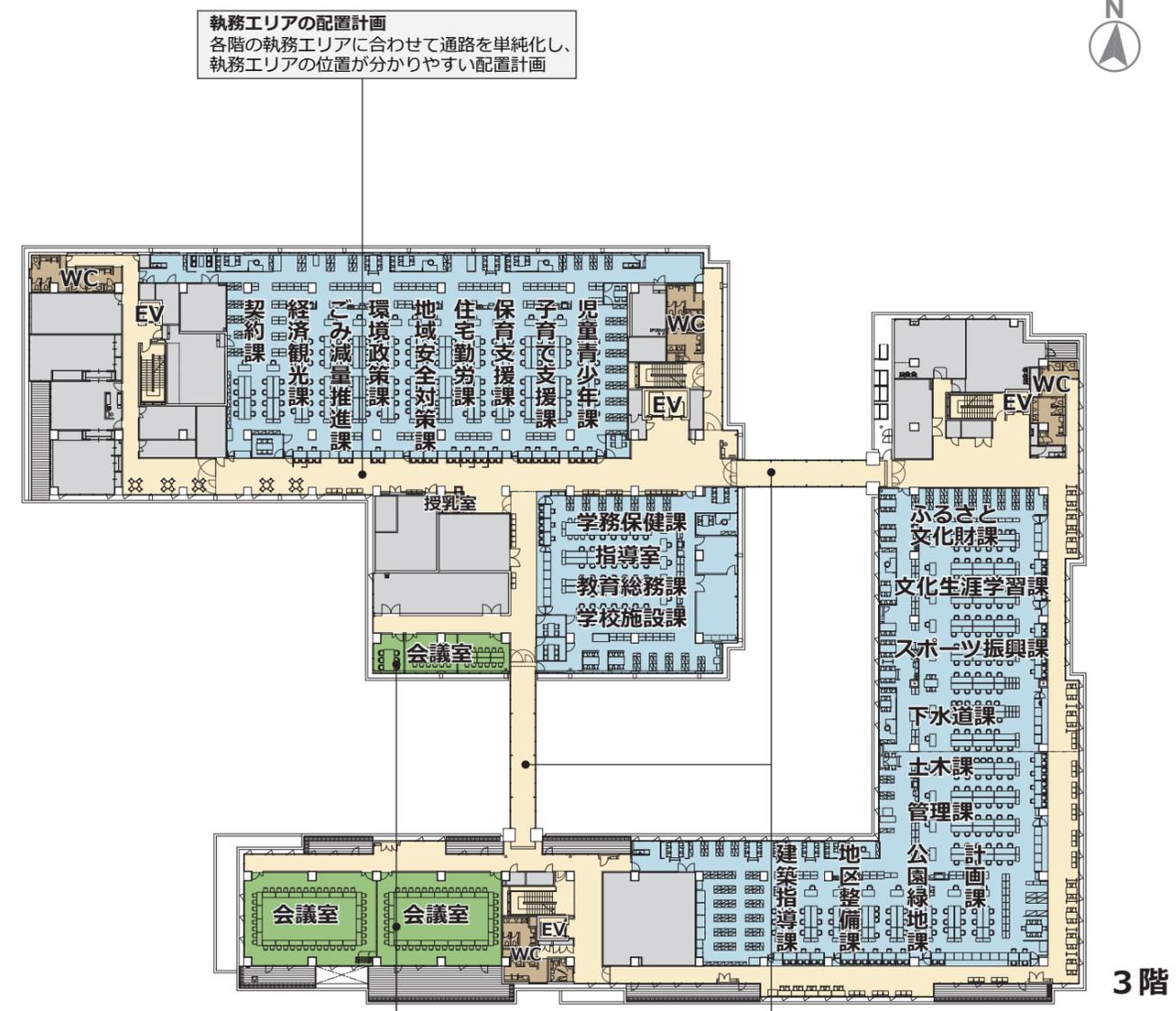
- ・「おもや」と「はなれ」をつなぐ屋内ブリッジに近接して、会議室を集約配置します。執務空間から近い位置に計画することで利便性の向上を図ります。

**3階 おもや・はなれ**

- ・3階はフロア全体に執務エリアを配置し、屋内ブリッジでつなぐことにより、回遊性が高く、部署間の連携が図りやすい計画とします。



2階



凡例	執務エリア	共用スペースエリア
	会議室エリア	議会エリア
	市民利便スペースエリア	その他諸室エリア



3階



